

 公益財団法人トヨタ財団

2019 年度研究助成プログラム 募集要項

「社会の新たな価値の創出をめざして」  
“Exploring New Values for Society”

応募期間：  
2019年7月16日（火）～9月13日（金）日本時間15時



## トヨタ財団の基本的な考え方

トヨタ財団は「人間のより一層の幸せを目指し、将来の福祉社会の発展に資する」ことを基本理念とする助成財団です。生活・自然環境、社会福祉、教育・文化を主要な領域として、多様な領域における課題を的確に捉えるため、これらに関する研究ならびに事業に助成を行っています。財団の活動では、その初期より「先見性 (foresight)」、「市民性 (participatory orientation)」、「国際性 (international perspective)」という3つの方向性を指標として、これらに沿って助成を実施することを基本的な考え方としてきました。

こうした基本的な考えを踏まえ、トヨタ財団では本年度より下記の点を満たすものを助成の対象とします。

1. 社会的な意義が大きいこと
2. 内外の課題を先取りするものであること
3. 未来志向であること
4. 持続可能性、発展可能性があること
5. 波及効果が期待されること

## 1 プログラムの趣旨

民主主義と市場経済を中心にした先進国の在り方は、格差の拡大、自国第一主義やポピュリズムの台頭、長期化する紛争と大量の難民受け入れ、移民・難民の排斥、強権的な政治、貿易紛争、SNSの普及に伴うフェイク・ニュースの拡散などによって、大きく揺らいでいます。これに加えて、食料価格高騰や頻発する自然災害などにより、市場の限界や気候変動といった地球規模の課題も、日常の暮らしにおいてひしひしと感じられるようになってきました。その結果、先進国のみならず、途上国や日本を含めた世界中の人びとの間で、将来への不透明感や不安が増幅しています。

このような現代社会を見据え、未来を創造していくためには、何が必要でしょうか。トヨタ財団研究助成プログラムでは、既に顕在化している課題に加え、まだ見えていない潜在的な課題を発掘し、それらと向き合うための「社会の新たな価値の創出」が必要だと考えます。これは、標準化された価値観や細分化された一部の専門的な知の体系からでは、複雑な問題の本質を捉え、予防や解決に導く手がかりを得ることは困難だと考えるからです。世界を俯瞰し未来を見通す広く柔軟な視野を持ち、従来の考え方や社会の在り方を問い直しながら、新たな価値の創出に向かうことが求められています。

こうした問題意識のもと、本助成プログラムでは昨年度に引き続き「**社会の新たな価値の創出をめざして**」というテーマを掲げ、大学・研究機関に所属する研究者に限らず、多様なバックグラウンドをもつ人びとによる共同研究プロジェクトを募ります。ただし、本年度はこれまで以上に、問うべき課題と、それに向き合うためにめざす「社会の新たな価値の創出」が何であるのかを明示することを求めます。なぜなら「社会の新たな価値の創出をめざして」とは、研究者自身が社会とのかかわりを意識し、自らの研究における社会的意義を自問しながら、課題を発掘し、未来を創造していく担い手となることだと考えるからです。

若い感性による自由な発想から研究が深まり、未来へとつながる新たな価値が創出されることを願っています。そして、昨年度以上に、研究成果が社会のなかで広く共有されるよう、私たちとしても、研究者のみならずと共に関心活動に取り組んでいきたいと考えています。

※本助成プログラムにおいて「研究者」とは、大学・研究機関に所属する研究者に限られません。研究活動に取り組むさまざまな個人を、ここでは「研究者」と定義します。

## 2 助成の枠組み

### ◆ 助成期間

2020年4月1日～2022年3月31日（2年間）

### ◆ 助成金

助成金額総額：6,000万円（目安）

助成金額上限：800万円／件

（2名以下のプロジェクト・チームの場合：150万円／件）

- ✓ 企画書記載の「費目一覧」を参照し、対象となる範囲をご確認ください。なお、助成対象プロジェクトに直接的にかかわらない費用、組織・団体の一般管理費（オーバーヘッド）は予算として認められません。（ただし、プロジェクトを運営する上で必要不可欠な作業にかかわる人件費については、謝金として予算に含めることが可能です。）
- ✓ 必要な経費のみを積算して予算計画を立てるようにしてください。予算の妥当性は選考の重要な要素となります。

### ◆ 助成の対象

(1) 原則3名以上のプロジェクト・チーム。

- ✓ 課題の新規性などのために3名以上での応募が困難な場合は、2名以下によるプロジェクトも対象としますが、その場合、企画書の所定欄に具体的な理由を記入してください。
- ✓ 2名以下の場合は、助成金の上限額150万円。

(2) 代表者は45歳以下（助成開始時）で、且つ主たる居住地が日本国内であること。

- ✓ 代表者の年齢制限に加え、本年度はさらなる試みとして代表者の主たる居住地を日本国内に限定します。これにより、財団とプロジェクトあるいはプロジェクト間の連携を促し、また、国内でのステークホルダー等への成果発信などにおいて、これまで以上にサポートを行っていく考えです。助成対象者（とくに代表者）は助成期間中、財団担当者と密にコミュニケーションを取ることが求められます。
- ✓ 代表者以外の参加者については、年齢や居住地に制限はありません。なお、代表者を含むすべての参加者について、国籍・学歴/経歴・所属等の制限はありません。本助成プロ

グラムは、大学・研究機関の研究者に限らず、実務家や NGO/NPO で活躍される市民、在野の研究者など、さまざまな人びとによる応募を歓迎します。

- (3) 研究領域や手法は問いませんが、次の二つのアプローチを含むことを想定しています。それらは相互補完的であり、どちらか一方というよりも、どちらに重心を置くかでプロジェクトの特徴が出るものだと考えます。
- i. 研究者が自らの知見を用いて現場に入り、価値の発見・創出・実現に取り組むもの。実践的で、研究のプロセスと成果が直接的に現場に働きかけるものが想定されます。たとえば、文化や風土、くらしのなかに埋もれていた知恵や知識を可視化する取り組みや、異なる背景や立場にある者同士の対話による新たな概念の形成などの取り組みが挙げられます。
  - ii. 価値が創出される場を社会的現象として客観的に捉え、そのプロセスやメカニズムを探求するもの。理論的で、研究の成果が社会的課題に対応するための道標として広く活用されるものが想定されます。具体的には、思想的・概念的な分析にもとづく問題提起、新しい学問領域の開拓などが挙げられます。
- (4) 研究活動における試行錯誤、また意図せぬ展開などを尊重します。ただし、研究の社会的意義を意識し、研究のみで終わることなく、その成果を広く社会で共有するための具体的な発信方法まで視野に入れていることを求めます。



### 3 応募について

#### ◆ 応募期間

2019年7月16日(火)～2019年9月13日(金)15時(日本時間)

\* 応募期間後のお問い合わせには対応しかねますのでご了承ください。

#### ◆ 応募方法

以下のプロセスをご参照の上、トヨタ財団ウェブサイト上の研究助成プログラムのページ (<http://www.toyotafound.or.jp/research/2019/>) よりご応募ください。

Step 1 応募者情報の登録	トヨタ財団のウェブサイトアクセスし、「研究助成プログラム」の「2019年度」ページ内にある【応募の受付はこちら】よりウェブ応募ページに進み、応募者情報の登録（名前、電子メールアドレス、パスワードを入力）を行ってください。
Step 2 応募書類の入手	応募者情報の登録完了後、ご登録いただいた電子メールアドレス宛に通知される URL より応募者専用ページにログインし、「基本情報」(Excel) および「企画書」(Word) の書式をダウンロードしてください。
Step 3 応募書類の作成	基本情報および企画書に必要な事項を記入し、応募書類を作成してください。(企画内容についてのご相談がある場合は、2019年8月30日(金)までに事務局までお問い合わせください。)
Step 4 応募書類の提出	応募者専用ページより、基本情報および企画書を送信（アップロード）してください。 ※応募書類の受付後、応募者情報でご登録いただいた電子メールアドレス宛に、応募完了の通知を送信します。通知が届いていない場合は事務局まで速やかにお問い合わせください。

#### ◆ 応募にあたっての注意事項

- ・ 電子メール、郵送、ご来所、FAX による応募は受け付けておりません。
- ・ 応募書類を提出いただく際に、基本情報および企画書以外の資料は不要です。
- ・ 基本情報および企画書の 差し替えは受け付けられませんので、送信前に必ずご確認ください。
- ・ 送信した基本情報および企画書のデータは、選考結果が通知されるまで必ず保管ください。
- ・ 応募締切(2019年9月13日(金)午後3時)の直前は、回線が混雑し送信できない可能性がありますので、お早めにご応募ください。

## 4 選考について

### ◆ 選考方法

助成の可否については、外部有識者により構成される当財団「研究助成プログラム選考委員会」（城山英明委員長・東京大学大学院法学政治学研究科教授）で選考を行った上で、2020年2月に開催される当財団理事会で決定される予定です。選考の過程では、必要に応じ、企画書の内容に関するヒアリング調査への協力をお願いすることがあります。

### ◆ 選考基準

- (1) 応募内容が、プログラムの趣旨と要件に合致しているか。
- (2) 実施内容の妥当性及び、想定される成果の見通しが適切であるか。
- (3) プロジェクト・チームが多様な人びとによって構成され、円滑な実施と波及効果が期待できるものであるか。
- (4) トヨタ財団の基本理念を理解し、「先見性」、「市民性」、「国際性」を意識したプロジェクト内容であるか。

### ◆ 選考結果

選考結果については、2020年3月下旬までに、連絡責任者にメールでお知らせする予定です。メールが届かない場合、お手数ですが、当財団までお問い合わせください。

(参考：2019年度助成の選考スケジュール概要)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
応募受付期間			書類審査			ヒアリング・選考委員会		決定/ 通知	贈呈式 /WS

## 5 当財団とのコミュニケーション

### ◆ 助成開始（覚書の締結）

助成の対象となるプロジェクトの代表者は、当財団との間で覚書を締結し、個人として責任を負い、これに即してプロジェクトを実施することになります（未成年者が代表者となる場合、成人の方が連絡責任者となり、代理人として手続きを行ってください）。

### ◆ プロジェクトの進捗

助成期間中は、定期的な報告書の提出に加え、当財団の担当者と密にコミュニケーションを取りながらプロジェクトを進めるようご注意ください。とくに、プロジェクトにおける主要なイベント開催や成果物の公表などの際には、必ずお知らせください。当財団の担当者も可能な限り現場を訪問し、プロジェクトの支援の充実および今後のプログラムの改善に役立たせていきます。

### ◆ 研究会・報告会（ワークショップ）

プロジェクトの代表者は、助成決定後から助成期間終了年内までに開催される研究会・報告会にご参加いただくようお願いいたします（旅費別途支給）。

中間報告会 2021年4月頃（予定）

成果報告会 2022年初夏（予定）

また、助成期間終了後も2～3年を目途に、当財団の助成の質を上げ、プログラムの改善などを行う目的で報告をお願いすることがありますので、その際にご協力をお願いします。

### ◆ 成果物

助成による成果物（書籍・冊子、論文・記事、映像作品等）を作成・公開された場合、当財団まで2部お送りください。その上で、成果物の概要（日本語400字程度および英語200words程度）を作成し、併せてご提出ください。





## 6 その他

### ◆ 個人情報について

応募書類から得た応募者の個人情報は、選考・審査および統計資料作成、本人への連絡等事務作業に使用します。また、法令で認める場合を除き、本人の同意なく上記目的以外に使用することはありません。

### ◆ 著作権

本プロジェクトを実施した結果作成された成果物の著作権は全て助成対象者に帰属します。ただし、助成対象者の同意を得られた場合には、提出された報告書またはその内容の一部をもとに、トヨタ財団が成果をとりまとめた出版物等を作成することがあります。

### ◆ 注意事項

- (1) 選考の対象となるのは、トヨタ財団ウェブサイトを通じて送信（アップロード）され、財団が受信した指定書式の企画書に限ります。郵便、Eメール、FAX等の手段によって送られた企画書は選考の対象となりません。
- (2) 応募書類の記載に虚偽または重大な誤りがあった場合、助成を取り消すことがあります。
- (3) 採否の理由等、選考に関わる内容に対してのお問い合わせには一切応じかねますので、あらかじめご了承ください。
- (4) ご提出いただきました応募書類等はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。

### ◆ トヨタ財団の助成プログラムについて

2019年度に公募を行うプログラムは以下のとおりです。研究助成プログラム以外の助成プログラムについては、以下の情報をご参照いただき、詳細は各プログラムのウェブページよりご確認ください。

#### ● 特定課題（以下2種類のテーマで助成を実施）

テーマ：先端技術と共創する新たな人間社会

募集時期：2019年9月～11月（予定）

助成総額：4,000万円（目安）（1件当たりの助成金額：500～1,000万円程度）

URL：<http://www.toyotafound.or.jp/special/advanced.html>

テーマ：外国人受入れに関する助成（仮） ※新規プログラム

募集時期：2019年9月～11月（予定）

助成総額：4,000万円（目安）

URL：<http://www.toyotafound.or.jp/special/foreigners.html>

- **国内助成プログラム**

テーマ：未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ

—地域に開かれた活力ある課題解決の仕組みを通じて—

助成カテゴリ：A. しらべる助成、B. そだてる助成、C. 発信・提言助成

募集時期：2019年8月19日（月）～9月30日（月）

助成総額：1億1千万円（目安）（しらべる助成：約2,000万円、そだてる助成：約8,000万円、発信提言：約1,000万円）

URL：<http://www.toyotafound.or.jp/community/2019/>

- **国際助成プログラム** ※2019年度の募集は終了しています。

テーマ：アジアの共通課題と相互交流 —学びあいから共感へ—

募集時期：2019年4月15日（月）～6月8日（土）

助成総額：7,000万円（目安）（1件当たりの助成金額：上限500万円／年、最長2年）

URL：<http://www.toyotafound.or.jp/international/2019/>



### お問い合わせ先

公益財団法人トヨタ財団 研究助成プログラム 担当：寺崎、甲野、前川

〒163-0437 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 新宿三井ビル37階

TEL：03-3344-1701 月～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:00

FAX：03-3342-6911

Email：[kenj@toyotafound.or.jp](mailto:kenj@toyotafound.or.jp)

URL：<http://www.toyotafound.or.jp/>

採否の理由などに関するお問い合わせには応じかねます。